

竹友藻風 たけとも 詩人、英文學者、文學博士。明治二十四年九月、千

四百大阪生れ、昭和二十九年十月七日歿（六九—九五）。未名扁雄 ななな。

大正二三年京都帝國大學文科大學英文科選科卒。アメリカ留學。東京高

等師範學校、東京文理科大學、關西學院大學、大阪大學各教授擔任。

大正十年、北原白秋等の新詩會發起に參劃。

著譯書 『夢の金草』（編、大正四年五月十五日松江堂書店・阪杉木漆江

堂）、『日本家歌詩集』（合著、未來社同人編、大正八年五月二十日玄

文社）、ダンテ作『神曲・地獄界上』（譯、大正十二年五月二十日京

都・文獻書院）、『ソナト・シツド池作』丸太（近代佛蘭西短篇小

集）『（譯、大正十二年六月十八日新しき村出版部「人類の本」）、

『希臘詞花抄』（大正十二年八月二十

五日新しき村出版部）、『ゆかり』（合

著・親佛文藝會編、大正十二年十一月

二十五日改活社）、『文學論』（大正

十五年四月十八日アリス）、『詩集』

（昭和二年十一月十五日新潮社）、『ヒ

ツセイとエツセイマト』（昭和二年十二月二十日北文館）、『レインク

他作』『近代詩人集』（共譯、昭和五年五月二十日新潮社『世界文學

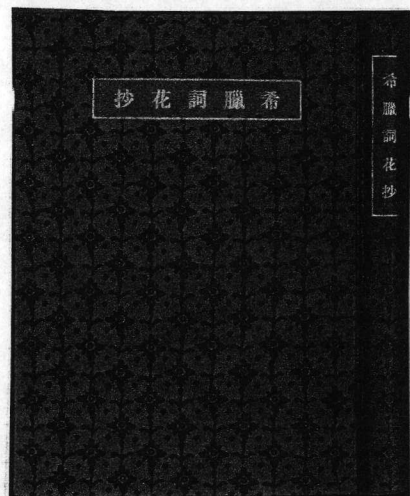
全集』）、『英語英文學論文集・第一輯』（合著・日本英文學會編、

昭和六年一月十八日研究社）、『文學通路』（昭和八年五月二十日梓書

房）、『文學總論』（第一分冊・古代文學に於ける宗教的背景）『（昭

和九年一月二十日梓書房）、『冬扇帖』（昭和九年二月二十一日文休

社）、『書物と人』（昭和九年四月二十日新進社書房）、『詩集』『新



製』(昭和九年五月)千白文教閣)、
「モリス記念論集」(合著、昭

和九年十月十日兵庫・川瀬白進堂

書店)、
「ポドライデシロ」(本名、

昭和十二年一月一日研究社「研究

社英米文學評博叢書」)、
「紋精

詩論」(昭和十四年一月千白弘

文堂書房「教養文庫」)、
「シエイ

クスピヤ作「大騒動」(譯、昭和

十五年一月十五日弘文堂書房「世界文庫」)、
「鶴鶴」(昭和十七年

六月)千白七文書院)、
「漢風小品」(昭和十八年九月十日積善館)、

「詩學と修辭學」(昭和十九年五月千白昭森社)、
「手向の花束」

市河晴子・二葉
追悼録」(合著、昭和二十年一月十五日河二葉編輯)、
「竹

友漢風選集」(「日文學論」昭和二十一年一月一日、
「エッセイとエッ

セイスト」六月一日京都・高桐書院)、
「レビズイヤット」(譯、昭和

二十二年八月十五日京都・西村書店)、
「バンヤン作「大路歷程」全一

冊(譯、第一部、昭和二十二年八月一日、
第一部、二十二年四月一

十五日京都・西村書店)、
「ロシエイク

スピア選集・一御意りまのい」(譯、

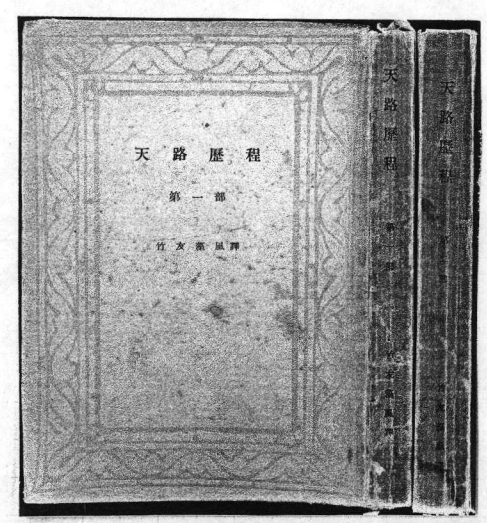
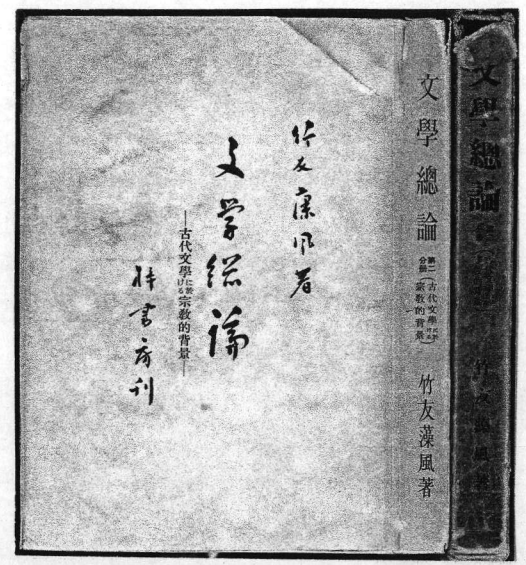
昭和二十二年五月十日大阪文庫)、
「肯

定の精神」(昭和二十二年八月一日増

進堂)、
「ダシテ作「神曲・天堂界」全

二冊(譯、第一部、昭和二十四年十一

月二十五日、第二部、二十五年八月五



白創出版社）、シヨン・ズニヤン作『天路歷程』全一冊（譯、第一部・
 昭和二十六年六月二十五日、巻部、二十八年八月五日岩波書店「岩
 波文庫」）、『世界總論譯集』（共譯・堀口大學選、昭和二十六年七
 月十五日羽田書店「世界總論譯集」）、『ダニク篇』神曲（譯、
 昭和二十七年一月二十一日河出書房「世界文學全集・古冊篇」）、ダ
 ニク作『神曲』（譯、昭和二十七年十月二十五日河出書房「學生版世
 界文學全集」）等。